

あかえっこ図書館だより

にじのかけはし



令和5年2月13日 No.14



数字って面白い！

3学期も、あかえっこ図書館は、あかえっこたちに学習や読書タイムで利用されています。3学期ともなると、調べ学習も上手になります。

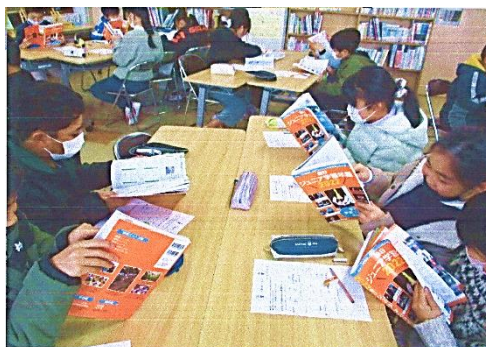
6年生は社会科で、歴史学習の調べ学習をしています。テーマを決め、そのテーマに関する情報をいろいろな資料から収集し、読み比べ、気づきや考えたことをまとめていきます。集中して静かに調べ学習に取り組む姿は、最高学年らしくとてもすてきです。もうすぐ中学生ですが、中学校では、きっとさらに上手な調べ手になることでしょう。楽しみです。

さて、5年生は、社会科の学習を中心に活用する『学習年鑑』のしくみと使い方について学習しました。最初は、「どの図書を使うでしょうクイズ」にチャレンジしました。「バルコニーという言葉の意味を調べたい時に使うのは？」「国語辞典！」「漢字の読み方が分からない時に使うのは？」「漢字辞典！！」「チョコレートについてくわしく知りたい時に使うのは？」「百科事典！！！」と3年生、4年生で学習した図書について、子どもたちは次々に答えています。

いよいよ最後のクイズです。「2021年の島根県の人口の最新データを知りたい時に使うのは？」ここで子どもたちは？？？考え込みました。ファイル資料をさがす子もいましたが、ここでいよいよ今日の主役、『学習年鑑』の登場です。

『学習年鑑』は年刊の図書ですので、定期的に発行され、情報の出所も明らかであることから信頼性も高く、前年の情報ということで、最新の情報がわかるという良さを伝えました。そして、実際に、『学習年鑑』を使いながら、「目次」と「さくいん」の2つのさがし方で、「2021年の島根県の人口の最新データ」を調べていきました。目次は、大項目→中項目→小項目とたどっていくと調べたいことにたどり着くことができます。さくいんは、キーワードで調べていくことになりましたが、より多くのページが書いてあるため、幅広く調べていくのに役立ちます。

『学習年鑑』の特ちょうとして、最初にアルファベット、次に50音の順に索引が掲載されています。島根県の人口を調べた後に、JRの1日の利用客の調査を見てみました。何と、東京の駅の中には、1日で、島根県の人口に近い利用客があることが分かりました。



「島根県に来ればいいのに。」とほのぼのとする一言。数字っておもしろい！と感じました。

5年生のふり返りより

目次や索引を見たら、調べたいことがすぐ分かり、すぐに調べられることが分かりました。いろいろなことがのっていたので、年鑑で調べてみたいと思いました。年鑑のしくみと使い方が分かりました。

年鑑はいろいろなことが書いてあって、おもしろいと思いました。目次や索引の意味を知らない調べたいことが調べられないから、目次や索引を使いこなせるとよいと思いました。

この本を使ってクイズを作ったり、いろいろなことを調べてみたいと思いました。年鑑には、日本の農業や水産業、オリンピックなどがくわしく、正確に書いてあることが分かりました。

大項目、中項目、小項目の3つがあることが分かりました。どこの調査かも書いてあることが分かりました。大切なことは調べる時に目次や索引からさがして目的のページを開くことだと思いました。

百科事典では、いろいろなことが調べられるけれど、年鑑は、調べたいことのこまかい所まで調べられるから、使いやすいなと思いました。

年鑑を使うと、いろいろなことが分かることを知りました。年ことの変化など、他では分からないことも知ることができるから、便利だと思いました。また、年鑑を使っていろいろなことを調べたいです。

あかえっこ家読カード

～ご協力ありがとうございました～

冬休みには、あかえっこ家読カードの取り組みをしていただきましてありがとうございました。

あかえっこ図書館の前には、各学級から1枚ずつお借りして、掲示させていただいています。

子どもたちが、本を読んで心を動かした様子とともに、おうちの方々とよい時間をもったことが伝わり、心がほのぼのとなりました。

普段なかなかおうちの人とゆっくり読書をする時間をとることは、できにくいかもしれませんが、機会がありましたら、ぜひ取り組んでいただければと思います。



文責：司書教諭 岡 鶴子